

2024年8月22日  
企業防災専門委員会

## 事前質問【回答集約版】

### 【事前質問】

(2023 または 2024 年度「東北フィールドスタディ」の参加企業さまにお聞きしました)

東北フィールドスタディに参加後、研修内容等が、自社の減災対策・取り組みに影響を与えた(参考にした)事象などがありましたら、お教え願います。

### 【啓発・教育】

- 実際に経験された方から生の声を社員に届けるべく、まだ日程などは調整中ですが、大川小学校で講師をしていただいた**佐藤さんに講演会を依頼中**です。
- 社内啓発・教育のコンテンツ、プレゼンテーションの**説得力向上**。
- 減災対策は自分事として捉えるよう、**具体例も交えて社員に伝える**ようになりました。

### 【対策・訓練・備蓄品】

- **仮設トイレ**の備蓄数・設置手順の見直し。仮設トイレ設置訓練対象者の拡大。
- 津波対策の促進 (**非常食保管場所の見直し**検討等)。
- 「事前に決めていないことは急にはできない」とお話を伺い、**想定しうる事象を盛り込んだ訓練の実施、マニュアルへ反映**に取り組んでいます。
- 自社の防災・減災対策見直しの際に、積極的に研修内容を活用・反映したいと考えています。また、研修内容を踏まえて、当社の事業を通じたお客様の防災・減災への取組への貢献について検討を進めています。
- 自分は参加していませんが、参加した部下からのヒアリングでは被害を抑えるためには事前の備えや災害を具体的にイメージできる継続的な訓練に取り組むことが大切であると報告を受けています。

### 【その他】

- 会社単位では特にはないものの自組織では**理解が深まった**。
- 自社取組みへの直接的な影響は特段ないが、参加させて頂いた社員の防災への取組み**意識が高まった**という実感はあり。

以上

## 【事前質問】

能登半島地震を受け、自社で新たに取組んだ減災対策または見直しを行った取り組み等がありましたら、お教え願います。

## 【安否確認】

- **安否確認**の見直し。
- 安否確認の**対象を見直す**予定。
- 従業員への安否確認**発信基準の見直し**。
- 長期連休期間中の大地震（最大震度5強以上を観測）の安否確認対象者の範囲見直し。
- 安否情報収集訓練の収集の回数を複数回にした（余震の都度確認するイメージ）。
- 正月に起こった災害であり、帰省する人もいる事から、被災地では無いが安否確認を行った。**休日中の災害の安否確認のあり方を検討**した。
- 地震時の社員・家族の安否確認の基準は、（本社が東京で社員の多くが首都圏在住のため）首都圏において震度5強以上の地震が発生した場合でしたが、能登半島地震を受けて、長期休暇期間中（GW、夏季連続休暇、年末年始）については全国どこでも震度5強以上の地震が発生した場合に安否確認メールを発出することになりました。

## 【備蓄品・運用】

- **仮設トイレ**の備蓄数・設置手順の見直し。仮設トイレ設置訓練対象者の拡大。
- **スターリンク** 配備数の見直し。
- **衛星電話** 配備・運用の改善 等。
- 備蓄品啓発強化（ブルーシートやカセットコンロなど）。
- 災害用備蓄品の増強、個人の備蓄品保管場所の確保など見直し。
- **食料備蓄** について、3日分から7日分に変更する。但し、スペースを確保の問題が浮上し、検討中。
- **携帯用トイレ**の重要性の共通認識をして、今後増やす予定。

## 【その他】

- 能登地震の通信、道路等の長期断絶を踏まえ、当地域において同様の懸念がないかどうかについて確認した。
- 災害対策本部体制（お客様対応の班構成、実施項目）の見直し。
- 復旧活動拠点候補の選定<取り組み中>。
- 能登半島へ至急の応援要請に応じるため、スタッドレスタイヤを購入、装着。

以上